

# 「忘れない」「伝える」「続ける」「つなげる」

## 東日本大震災復興支援募金へ ご協力ありがとうございました

コープでは、東日本大震災の発災直後からさまざまな復興支援活動に取り組んできました。そのひとつ「東日本大震災復興支援募金」は、2016年度も多くの方にご協力いただき、約2,247万円(2017年1月現在)が寄せられています。誠にありがとうございます。お寄せいただいた募金は、被災地生協やコープネットグループの生協のさまざまな支援活動に活用されています。活動の一部をご紹介します。

### 仮設住宅などでのサロン活動を支援

被災地では自立支援や復興支援住宅への転居も進んでいます。現在も仮設住宅にお住まいの方もいます。コープふくしまやいわて生協、みやぎ生協では、仮設住宅や復興支援住宅の集会所などでサロン活動を行っており、コープネットグループの職員や組合員も運営スタッフボランティアとして参加しています。皆さんが孤立しないよう、コミュニティづくりとしてのお茶飲みやおしゃべりの場は重要な役割を果たしており、昨年4月～12月までにのべ470回以上開催しています。



いわて生協では、毎月40～50回のサロン活動を行っています。(写真は釜石市のふれあいサロン)



コープながのは、コープふくしまと共催で、富岡町緑ヶ丘応急仮設住宅集会所で信州名物のおやきを作り、参加者と交流しました

### 子どもたち、親子のケア

福島県生協連が開催する、福島県内の子どもたちを支援する「福島の子ども保養プロジェクト」(通称:コヨット!)。原発事故後の福島県内の子どもたちの外遊びを支援し、保護者をケアする具体的な取り組みとして実施されています。開始当初は、県内で暮らす子どもたちの被ばく量の低減を目的の一つとしていましたが、6年が経過した現在では、親子ともに環境や子育ての不安、人間関係などさまざまな状況から離れ、のびのびと過ごす時間と場としての役割も大きくなっています。昨年は、コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんまで協力しました。参加者からは「学校や家庭では体験できないことができてよかった」などの感想が寄せられました。

また、コープみらいやコープにいがたは、学習施設や学童クラブなど子どもたちの居場所づくりへの支援も行っています。



昨年7月、いばらきコープも協力し、茨城県自然博物館の見学やJA北つくばでとうもろこしの収穫体験を行いました



同じく昨年7月、コープみらいも協力した「コヨット!」は、小学4年～6年生の19人が埼玉県にある鉄道博物館見学やキャンプファイヤー、埼玉伝統工芸会館での手すき和紙体験などを楽しみました。

被災地のくらし応援活動と避難生活を余儀なくされている方々への支援に、大切にに使わせていただきます

### 皆さまのご協力をよろしくお願いいたします

震災についての報道は少なくなり、被災地の様子を目にするのは少なくなったかも知れません。しかし、復興は道半ばで、原発事故の影響もあり、避難されている方々が元のくらしを取り戻すには長い年月がかかります。

震災発生から6年を経た今、地域による復興格差、住宅問題、心のケア、産業復興の遅れなど、課題は変化していますが、引き続き支援が必要です。コープネットグループでは、「忘れない」「伝える」「続ける」「つなげる」を合言葉に、2017年度も募金活動を通じた支援に取り組めます。皆さまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 募金のご案内

#### コープデリ宅配では

OCR注文書6ケタ注文欄に申し込み番号と口数をご記入ください。全ポイントの場合は、数量欄に「1」とご記入ください。

286443	1口	100円
286605	1口	1,000円

#### 店舗では

レジまたは募金箱にて受け付けます。レジでは、表示窓下の募金の札を取り、レジ担当者に金額とともに申し付けください。

#### ポイントでの募金

1ポイントあたり1円募金いただけます。

287024	1口	10ポイント
287032	1口	100ポイント
287041		全ポイント

※この募金は、税務上「寄付金控除」の対象になりません